

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2024 年 1 月 20 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	2024 年 1 月 20 日 (土)	16 時 30 分
名称	第 129 回新春講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市文化センター会議室Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ+ZOOMリモート講演	
行事内容	1. 主催者挨拶 熊田成人支部長 2. 講演者紹介 小波盛佳技術者教育支援委員長 3. 講演 「技術者倫理と幸福学」 講師：前野 隆司先生 慶應義塾大学教授	
参加人数	リモート講演 出席者82名	

講演概要：

倫理学には予防倫理（消極的、内向き、義務感）と志向倫理（積極的、外向き、自発的）がある。会社に例えると、予防倫理は社員の底上げのための倫理であり、志向倫理は社員がさらに良くなってより善い社会を創っていくための倫理である。幸福学の基礎として、幸せの4つの因子とは、1.やってみよう因子（自己実現と成長の因子）、2.ありがとう因子（つながりと感謝の因子）、3.なんとかなる因子（前向きと楽観の因子）、4.ありのままに因子（独立と自分らしさの因子）である。つまり、夢や目標を持ち、利他的かつ前向きに自分らしく生きる人は幸せである。

講演においては、幸福経営学の実際の事例が述べられた。社長が率先して挨拶を行うことによる社風の改善や、給料にほとんど差をつけないことによる社員の一体感の促進などが具体例として紹介された。質疑応答では、Z世代である若手社員の教育についても話し合われた。（企画委員会と技術者教育支援委員会の合同開催）

幸福感とパフォーマンスの関係

- 創造性 生産性** 幸福感の高い従業員の創造性は3倍、生産性は31%、売上は37%高い (リュボミルスキー、キング、ディーナー)
- 欠勤率 離職率** 幸福度が高い従業員は欠勤率が低く [George, 1989]、離職率が低い [Donovan, 2000]

ハーバードビジネスレビュー2012年5月号「幸福の戦略」P62~63

16

講演中



熊田 成人

主催者挨拶



質疑応答